

長野県坂城町議会

さかき

No.161

令和3年4月30日

議会だより

昭和橋と自在山

(関連記事10ページ)

3月定例会

- ・令和3年度予算
坂城小学校に太陽光パネル及び蓄電池設置など……2ページ
- ・予算審査 委員長報告 ……………4ページ
- ・ここが聞きたい!一般質問13名 …………… 11ページ

つて

3月定例会 予算議会

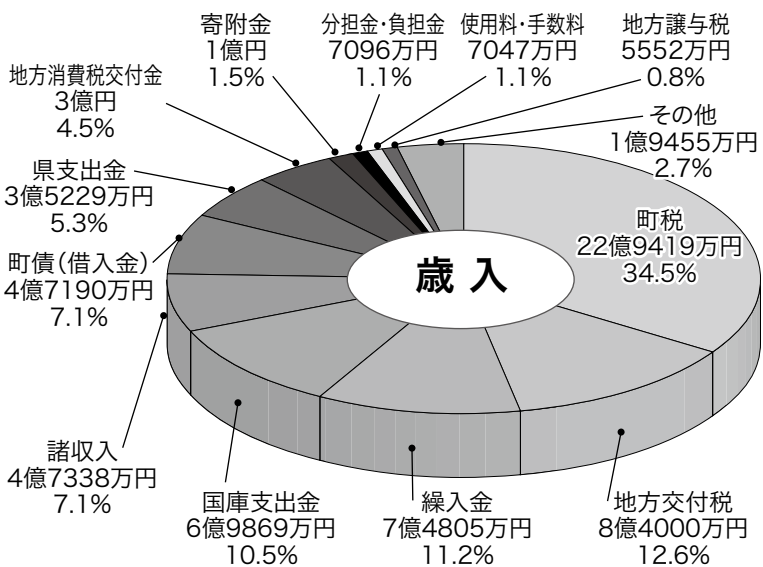
106億6744万円

令和3年第1回定例会は3月1日に開会され、一般質問には13名が登壇した。令和3年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、条例案、第6次長期総合計画基本構想及び令和2年度補正予算等を原案のとおり可決したほか、意見書1件の提出を可決し、22日に閉会した。

一般会計
66億7000万円
前年度比4.4%増

歳入

町税約23億円(前年度比9.0%減)

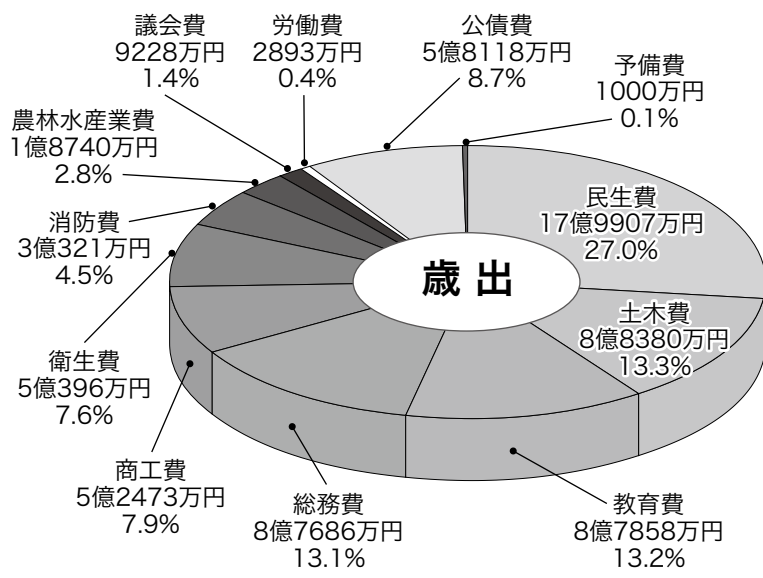


歳入

新型コロナウイルス感染症流行の影響による所得の減収が見込まれることから、個人町民税と法人町民税あわせて9800万円減を見込み、固定資産税は評価替えや緊急経済対策の影響により、1億1800万円の減を見込んでいる。諸収入では保育園に通

歳出

新型コロナウイルス予防接種事業 約9400万円



歳出

う町内在住の3歳見以上全員の副食費を無料化したことにより、615万円の減となっている。寄附金はふるさと納税の2年度実績等を踏まえ、2千万円増額した。

また、緊急通報システム「あんしん電話」を更新するほか、新型コロナウイルス予防接種事業として、ワクチン接種委託料や予約受付等のコールセンター委託料などの経費、約9400万円が計上された。

新工業団地とあわせて整備するA09号線道路改良事業や小中学校特別教

室等への空調設備設置、坂城小学校へ太陽光パネル及び蓄電池設置、消防団ポンプ車更新などの事業に取り組み。

第6次長期総合計画（町の将来像）

「輝く未来を奏でるまち」に向か

坂城小学校に太陽光パネル及び蓄電池設置など



元気でね!! (南条保育園)

令和3年度 予算総額

特別会計
39億9744万円
 前年度比6.6%減

会計名	予算総額	対前年度増減率
国民健康保険	14億9121万円	3.6%
下水道事業	8億4888万円	△25.0%
介護保険	14億2094万円	△3.8%
後期高齢者医療	2億3641万円	2.9%

国民健康保険

平成30年度より制度運営が都道府県単位に変わり、財政主体も変更された。それに伴い、保険料収入を主な原資として県へ納める事業費納付金と県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等を計上し、保健事業を推進する。前年度

下水道事業

比3・6%、5191万円の増。

居住地域の整備が概ね完了するため、今後は町内の未整備地区の整備を進めていく。前年度比25・0%、2億8298万円の減。

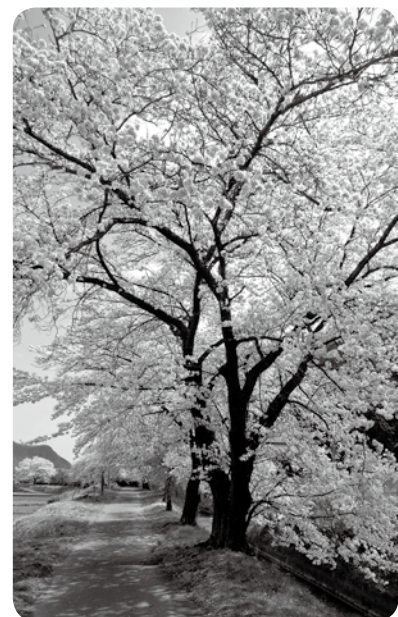
介護保険

第8期介護保険事業計画に基づき、介護を必要とする高齢者が安心して介

後期高齢者医療

護サービスが利用できるような事業を実施するとともに、高齢者の自立を支援し、介護予防・重症化防止のほか、地域の支えあい体制づくりを進める事業を実施する。前年度比3・8%、5615万円の減。

本制度は長野県後期高齢者医療広域連合が運営しており、町は保険料の徴収と窓口業務を行っている。前年度比2・9%、668万円の増。



早や満開（網掛）

委員長報告

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和3年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

総務産業常任委員会

新工業団地造成

委員長 滝沢幸映

歳入

税収減

問 固定資産税、1億1800万円減額の内訳は

答 評価替により、土地分で700万円の減、家屋分で1500万円の減。新型コロナウイルス感染症緊急経済対策等による軽減措置として、家屋が3100万円減、償却資産で6200万円の減などである。

なお、減収分のうち、9300万円については、地方特例交付金として国から交付される見込みである。

歳出

総務課

職員研修

問 職員研修の計画は。

答 接遇やコンプライアンスに関する研修などを予定している。

また、各業務の専門的な研修のほか広域連合主催の研修等にも参加を予定している。

問 公債費の今後の見通しは。

答 3年度は新規の借入額が2年度当初より増額となる。4年度以降の新規借入を考慮しない場合、公債費は6年度まで上昇し、その後減額となる見込みである。

会計室

公金収納手数料

問 公金収納手数料の見込みは。

答 金融機関等での納付が1万1500件、コンビニ納付が1万1千件で110万円を見込んでいる。

企画政策課

びんぐし湯さん館

問 リニューアルのスケジュールは。

答 オープンから20年を

経過し、設備等の老朽化が進んでいる。3年度に、設備等の状況確認やリニューアルの実施設計を行い、4年度に工事を行う予定である。

問 犯罪被害者等見舞金の内容は。

答 対象事案が発生した際に早急な支援ができるよう、町条例に基づく遺族見舞金30万円、傷害見舞金10万円をそれぞれ1件分計上した。

問 坂城小学校に設置する太陽光発電設備及び蓄

電設備の内容と完成予定時期は。

答 太陽光発電設備については体育館の屋根、蓄電設備については中庭を想定している。3年度末までに工事を完了させる予定。

商工農林課

新工業団地

問 用地交渉の進捗状況と4年度の方譲に向けたスケジュールは。

答 関係地権者は39名で、現時点での用地取得進捗率は約9割である。

6月に、県へ開発行為許可と農地転用の申請を予定しており、許可後、入札により業者を決定し、3年度末までに造成工事を完成させる予定。

問 有害鳥獣対策事業の計画は。

答 有害鳥獣駆除を猟友会に委託するとともに、農業者が行う予防施設設置費用の補助や地域と猟友会が連携して行う集落捕獲隊への支援を行う。



新工業団地造成予定地

また、有害獣防止柵の設置について、現在、入横尾区と協議を進めており、3年度は1000m設置する計画である。

問 トイレ改修工事の内容は。

答 さかき地場産直売所「あいさい」に併設するトイレの洋式化を行うもので、6月の完成を予定している。

建設課

橋梁点検

問 橋梁点検の計画は。

答 点検は2m以上の橋が対象であり、3年度は町内159橋のうち110橋の点検を実施する。残りの49橋のうち、修繕工事中の昭和橋を除く44橋は点検を実施済である。上信越道に架かる跨道橋4橋は、5年度にネクスコ東日本に点検を委託する予定である。

問 バリアフリー化工事の内容は。

答 四ツ屋区の国道から産業道路につながるA03

号線、神明神社付近の横断歩道安全対策工事と、グリーンベルト設置工事を予定している。

社会文教常任委員会

消防団員確保

委員長 大森茂彦

住民環境課

問 ごみ指定袋の自治区の斡旋は必要か。

答 近くに販売店がなく指定袋の購入が困難な方のために、は、またPRの方法は。

問 補助金の内容は。

答 高齢者の特殊詐欺や悪質商法の被害防止のため、町内の65歳以上の方を対象として自動録音機能がある電話機等を購入・設置に要した費用の一部を補助する。

昨年10月から受付を開始しており、補助金額は費用の2分の1以内で上限額5千円である。

福祉健康課

結婚支援

問 結婚支援をどのように進めていくか。

答 町内企業に勤務する方を対象としてテクノハート坂城協同組合が実施する交流事業への支援や、町社協が平成30年7月から利用を開始した全県を範囲とする「ながの結婚マッチングシステム」の導入支援など、様々な機会を通じて出会いの場が創出されるよう取り組んでいく。

問 障害児通所等給付費が増額されているが、その要因は。

答 主な要因は放課後等デイサービスの利用増加で、町では、早くから相談等、早期からの支援に取り組んでいることや、保護者の働き方が変化していること、町内基盤が拡大されたことなどが利用者の増加につながっている。

問 歯周疾患検診の対象者数と実績は。口腔の健康は大切であり、受診者増加への方策は。

答 40・50・60・70歳の節目年齢の方を対象としており、元年度は対象者703名で98名が受診した。多くの方に受診していただけるように勧奨していきたい。

教育文化課

GIGAスクール

問 端末の導入状況とWi-Fi環境のない家庭への支援は。

答 町内全ての小中学校の児童・生徒に対し、1人1台の端末の導入が一通り完了し、現在最終調整を行っているところである。臨時休業する場合、Wi-Fi環境のない一部の家庭に対しモバイルルーター等を貸与する予定である。

問 分館施設整備補助事業の内容は。

答 金井分館の下水道接続、エアコン設置。御所沢分館の床、建具等改修。南日名分館の照明器具改修。荻屋原分館のエアコン設置、床改修等である。

問 文化センターは耐震診断を行い改修する際、使い勝手について見直しする計画はあるか。

答 建物の大きな構造変更はできないが、耐震改修を基本に利用者からの様々な意見を聞きながら改修計画を立て対応したい。

問 保育園の給食の献立の作成方法は。

答 献立については、国が示す食事摂取基準に加え、毎月測定する園児の身長・体重から算定した栄養価を基に作成している。



委員長報告

特別会計

各常任委員会では、付託された令和3年度の4特別会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

国民健康保険事業

社会文教常任委員長 大森 茂彦

保健指導

問 加入者はどのくらい減少しているのか。

答 2月末現在3005人で、前年同期比で52人減少している。

問 集団健診後は保健指導に繋がっているのか。

答 健診を受けたすべての方に個別に結果を説明し、保健指導をしている。

問 高額療養費の対象は。また、滞納者への対応は。

答 1ヶ月の医療費の自己負担が所得に応じた限度額を超えた場合に超過分が高額療養費として支給される。滞納者についても支給するが、本人の同意を取ったうえで、未納の税へ充当している。

問 国保加入者の所得区別の被保険者数は。

答 令和2年12月末現在の所得区分別の被保険者数は、100万円未満が1291名、200万円未満が753名、300万円未満が360名、400万円未満が230名、500万円未満が18名、600万円未満が72名、600万円以上が200名、計3024名となっている。

問 出産育児一時金の内訳は。

答 一人当たり42万円、6名分を計上している。

下水道事業

総務産業常任委員長 滝沢 幸映

受益者負担金及び使用料の見込み

問 令和3年度の受益者負担金及び使用料の見込みは。

答 受益者負担金は、以前からの分納者に加え、新規賦課対象の180件、10万mを見込み、5060万円を計上している。また、使用料は前年度より100件、200人増の4030件、9900人を見込み1億7千万円を計上した。

問 下水道管路移設補償費の内容は。

答 町道A09号線の道路改良整備に伴い、一部道路線形が変更となるため、既存の下水道管路を移設するための補償費である。

問 地方公営企業会計適用業務の内容は。

答 人口3万人未満の団体は、6年度から法適用となることから、2年度に基本計画を策定し、3年度は資産台帳の整備を行う。

一般会計と特別会計の違いは？

一般会計とは、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計。一方で特別会計は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計。当町では、令和3年度は、国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の4会計がある。



下水道工事（鼠団地入口）

介護保険事業

社会文教常任委員長 大森茂彦

介護保険料見直し

問 介護保険料の見直しにより保険料が減額になった理由は。

答 介護保険料は3年に1度の介護保険事業計画策定の際に見直しを行っている。現行の第7期におけるサービス量が見込みを下回っており、第8期は基金を活用して被保険者の負担を抑えるため基準額を月額5100円から5000円に引き下げる。

問 サービス内容は3年前と比較して変化はあるのか。

答 サービス内容の変化はないが、町内の地域密着型介護老人福祉施設の増床など、サービスの基盤整備が進んでいる。

問 介護保険料の滞納者はサービスの上限まで

サービスが利用できない等の制限があるのか。

答 サービス利用の制限はない。滞納がある場合は一度全額負担をしていただき、その後申請により償還払いで給付されるが対象者はいない。また、現在滞納のある利用者には分納誓約による納付により、サービスを利用していたらだいている。

問 介護認定の状況は。

答 2年度の認定の申請状況は、2月末時点で603件、月平均55件で内訳は、新規が189件、変更が104件、更新が310件である。

後期高齢者医療事業

社会文教常任委員長 大森茂彦

算定方法は県内一律

問 滞納繰越の現状は。

答 2年度の滞納繰越は普通徴収で9万6700円であったが、令和2年6月にすべて解消している。

問 保険料の算定方法は。

答 県内一律の算定方法になっている。

問 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に對しての助成は行われているのか。

答 3年度の事業費のほぼ全額は国と広域連合から助成される。



移動販売車（坂本宿ふるさと歴史館駐車場）

第1回定例会における令和2年度補正予算の主な内容

◆一般会計補正予算(第13号) 専決

補正額 1036万円

歳出の主な内容

新型コロナウイルス予防接種事業 939万円
(電算処理委託、コールセンター等業務委託など)

◆一般会計補正予算(第14号) 補正額 ▲2562万円

歳入の主な内容

町税(固定資産税など) 2800万円
諸収入(預託金の返還など) 1806万円
国庫支出金 ▲3540万円
繰入金(財政調整基金など) ▲3625万円

歳出の主な内容

びんぐし湯さん館への事業持続化負担金 2500万円
地域交通事業者への事業継続緊急支援金 70万円
町体育館入口の横断歩道新設事業 525万円
図書館駐車場等に係る用地取得費 3284万円
GIGAスクール推進事業 ▲5190万円
鼠橋、64号橋など橋梁修繕事業 ▲2000万円
村上小学校蓄電池設置事業 ▲1985万円

第1回定例会 議案審議

条例改正など

◆長野広域連合規約の

変更

長野広域連合が運営する若槻デイサービスセンターの管理運営の事務を廃止すること及び特別養護老人ホーム須坂荘を社会福祉法人に移管することなどに伴い規約の一部を変更する。

◆長野広域連合規約の変更に伴う財産処分の協議

特別養護老人ホーム須坂荘を社会福祉法人に移管することに伴い、須坂荘の建物、備品等を移管先の法人に譲渡する。

◆長野市及び坂城町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結

連携協約を変更し、新たに「先端技術の利活用等」による効率的な都市機

◆坂城町議会議員及び坂城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

能の推進など、高次の都市機能の集積強化を図る取組「ICT基盤の整備などICTの効果的な利活用を推進する取組」及び「圏域全体の課題解決に向けた調査・研究など、圏域マネジメント能力の強化を図る取組」を加えるもの。

◆坂城町議会議員及び坂城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

◆坂城町工場立地法に基づく準則を定める条例の制定

対象とし、その負担額等を定めるもの。

◆坂城町工場立地法に基づく準則を定める条例の制定

町内における工場の立地について、周辺との環境の保全を図りつつ、工業用地の有効活用と生産性の向上を促進するため、緑地面積率等に係る地域準則を定めるもの。

◆坂城町国民健康保険税

条例の一部改正

令和3年度国民健康保険事業費納付金等が県から示されことにより、その納付金額を賄うため税率を改正する。

◆坂城町介護保険条例の

一部改正

令和3年度から3年間の計画期間とする第8期介護保険事業計画に基づき保険料の見直しを行う。

基準額となる第5段階の保険料月額を100円引き下げ5千円とし、これを基準として所得段階ごとの乗率に応じた保険料となるよう条例を改正する。

◆坂城町都市公園条例の

一部改正

びんぐしの里公園内にある屋内ゲートボール場「すぱーく坂城」について、現行の4時間単位の貸出を1時間単位とする。

◆坂城町第6次長期総合

計画基本構想について

令和3年度から令和12年度までの10年間の計画期間として、「輝く未来を奏でるまち」を町が目指す将来像として掲げ、6つの基本目標に沿った施策を推進する。



新しい複合化施設建設に向けて
(上：保健センター 下：老人福祉センター)

◆坂城町積立基金条例の

一部改正

坂城町公共施設個別施設計画に基づき整備を予定している、保健センター及び老人福祉センターを複合化した新施設の建設のため、新たに保健福祉等複合施設整備基金を設置する。



第1回定例会(3月)の審議結果

1 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)	山城 峻一	祢津 明子	中島 新一	大日向 進也	栗田 隆	玉川 清史	滝沢 幸映	朝倉 国勝	吉川 まゆみ	塩野 入猛	中嶋 登	大森 茂彦	小宮 山定彦	西沢 悦子
条 例 等	長野広域連合規約の変更に伴う財産処分の協議		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	議 長 職
	坂城町議会議員及び坂城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	
	国民健康保険税条例の一部改正		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	
令和3年度当初予算	国民健康保険特別会計		○	○	○	○	○ 賛成 討論	×	○ 反対 討論	○	○	○	○	×	○	

2 全会一致で議決した議案

(1) 専決処分

- ① 和解及び損害賠償額の決定
- ② 令和2年度一般会計補正予算(第13号)
- ③ 国民健康保険条例の一部改正

(2) 条例等

- ① 長野広域連合規約の変更
- ② 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ③ 工場立地法に基づく準則を定める条例の制定
- ④ 積立基金条例の一部改正
- ⑤ 介護保険条例の一部改正
- ⑥ 都市公園条例の一部改正

(3) 令和3年度当初予算

- ① 一般会計
- ② 下水道事業特別会計
- ③ 介護保険特別会計
- ④ 後期高齢者医療特別会計

(4) 令和2年度補正予算

- ① 一般会計(第14号)
- ② 国民健康保険特別会計(第4号)
- ③ 下水道事業特別会計(第5号)
- ④ 介護保険特別会計(第4号)
- ⑤ 後期高齢者医療特別会計(第3号)

(5) その他

- ① 農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意
- ② 農業委員会委員の任命(14件)
- ③ 長野市及び坂城町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結
- ④ 第6次長期総合計画基本構想
- ⑤ 町道路線の認定
- ⑥ 町道路線の変更

(6) 意見書

- ① 最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

農業委員会委員

人事

(敬称略)

石間 笑 (上五明)

柳澤 茂隆 (御所沢)

宮下 佳明 (上平)

矢嶋 鋭二 (四ツ屋)

春日 和彦 (北日名)

柄沢 満則 (上五明)

小林 秋治 (綱掛)

山崎 輝雄 (鼠)

小宮山健一 (南日名)

滝澤 康明 (中之条)

西澤 英幸 (北日名)

宮下 卓 (入横尾)

柳沢 賢二 (金井)

栗田 隆 (金井)

※任期は令和3年5月18日から3年間

3 全会一致で否決された議案……なし

4 陳情審査結果

件名	提出者	付託常任委員会	審査結果
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求めることについて	長野県労働組合連合会 議長 細尾 俊彦	総務産業	可決 意見書提出

議 会 日 誌 (主なもの)

表紙



当町に生まれ育った多くの人にとって、ふるさとの原風景とでもいふべきアーチが美しい昭和橋は、2002年に「中島武設計のRCローゼ桁群」として土木学会選奨土木遺産に認定された。

もっとも古い部分(坂城側の3連)は、昭和12年(1937年)当時、長野県の道路・土木技師だった中島武技師が戦争のため鋼材不足の中、世界で初の技術である鉄筋コンクリートローゼ橋を設計し完成させた。

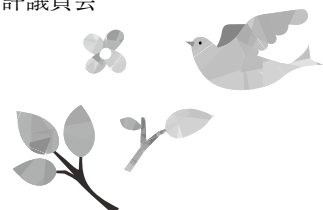
現在は、コンクリートローゼ橋9連(アーチのある部分)と村上側のゲルバーガーター橋で構成されており全長466m、有効幅員4.5m。平成27年度より長寿命化を図るため毎年冬季に修繕工事を実施、現在も継続中である。

(写真・文 小宮山定彦)



議会構成が変更となるため、このメンバーでの編集は最後となりました。2年間、ご愛読ありがとうございました。

- | 月 | 日 | 議 事 内 容 |
|--------|----------|--|
| 1月 | 6・14・19日 | 議会報編集委員会 |
| | 12日 | 議会運営委員会 |
| | 13日 | 町障害者計画等策定委員会 |
| | 20日 | 議会全員協議会 |
| | 24日 | 町消防団表彰式 |
| | 26日 | 長野県地方自治政策課題研修会(オンライン研修) |
| | 28日 | 町例月現金出納検査
長野広域連合議会運営委員会 |
| | 2月 | 1日 |
| 2日 | | 生活環境保全審議会 |
| 4日 | | 上田地域広域連合議会代表者会
国民健康保険運営協議会 |
| 5日 | | 長野広域連合議会定例会 |
| 9日 | | 六ヶ郷用水組合議会定例会
新春経済講演会 |
| 10日 | | 長和町議会来庁(議場視察)
長野県労働組合連合会陳情 |
| 17日 | | 議会全員協議会 |
| 18日 | | 町公共施設等総合管理計画策定委員会
葛尾組合議会定例会 |
| 19日 | | 議会運営委員会
千曲衛生施設組合議会定例会
町健康づくり計画等策定委員会 |
| 22・25日 | | 上田地域広域連合議会定例会 |
| 24日 | | 町空家等対策協議会
千曲坂城消防組合議会定例会 |
| 25日 | | 町障害者計画等策定委員会 |
| 26日 | | 町例月現金出納検査 |
| 3月 | | 1日～22日 |
| | 1・22日 | 議会運営委員会 |
| | 1・18・26日 | 議会報編集委員会 |
| | 5日 | (公財)さかきテクノセンター理事会
坂城経営フォーラム |
| | 19日 | (公財)さかきテクノセンター評議員会 |
| | 24日 | 町土地開発公社理事会 |
| | 26日 | 町例月現金出納検査 |
| | 29日 | 町空家等対策協議会 |



ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

質問項目

吉川 まゆみ 議員 11 ページ

- ① 新型コロナワクチン接種について
- ② あんしん電話(緊急通報装置)の利用について
- ③ コロナ禍での高齢者の健康維持について

栗田 隆 議員 12 ページ

- ① ワクチン接種について
- ② ゴミ問題について
- ③ ICT教育について

柘津 明子 議員 12 ページ

- ① DX化、ゼロカーボン社会の実現に向けて
- ② 稼げるまちづくりについて
- ③ 新規創業を促すために

玉川 清史 議員 13 ページ

- ① 少人数学級実現に向けて
- ② 子育て支援について

中島 新一 議員 13 ページ

- ① アフターコロナに向けて
- ② 森林整備について

山城 峻一 議員 14 ページ

- ① びんぐしの里公園について
- ② 児童館について
- ③ 男女共同参画社会のまちづくり

小宮山 定彦 議員 14 ページ

- ① 林業振興について
- ② 一般廃棄物処理について

塩野入 猛 議員 15 ページ

- ① 新型コロナワクチン接種について
- ② 国道18号バイパスについて

朝倉 国勝 議員 15 ページ

- ① コロナ対策について
- ② 国土利用計画について
- ③ 町の表彰式について

大森 茂彦 議員 16 ページ

- ① 地域公共交通の構築は
- ② 総合戦略と人口ビジョンについて
- ③ 男女共同参画計画の町づくり

滝沢 幸映 議員 16 ページ

- ① 長期総合計画について
- ② 国際交流と海外派遣について

大日向 進也 議員 17 ページ

- ① 鉄の展示館西側の土地の利用について
- ② 空き家対策について

中嶋 登 議員 17 ページ

- ① ふるさと納税について
- ② 地球温暖化について
- ③ 気候非常事態宣言について

あんしん電話

新たな機器の内容は

無線方式のシステムへ移行

問 「高齢者見守り事業」のひとつ「あんしん電話」の内容と利用状況は。福祉健康課長 平成6年に導入。町の一人暮らし高齢者台帳に登録のある65歳以上を対象として設置。当初は110台だったが、現在は75台である。受信センターへの通報の内容に応じて、相談を受けたら、緊急時には利用者宅へ



吉川 まゆみ 議員

問 新年度更新する機器の内容は。福祉健康課長 固定電話や携帯電話がなくても対応できる無線方式のシステムへ移行する。9月頃までを目前に現在の利用者7名を優先し設置していく。その後は、未利用の一人暮らし高齢者台帳登録者に新システムの案内を行い、令和3年度中に100台程度

確認に行く。28年度の利用者は92名、29年度は91名、30年度は88名、令和元年度は82名、2年度は12月末現在75名で、待機者は7名である。

問 設置を見込んでいます。軽井沢町は老老世帯も利用できる。当町も利用の枠を拡大できないか。福祉健康課長 今は対象

をを広げるのではなく、登録されている方に、利用の意向について確認を進めていきたい。



命を守るあんしん電話



栗田 隆 議員

希望しない人への配慮を

十分な広報を行う

ワクチン

問 個人が意思決定する場合必要となるものは、

- (一) 正確な情報・データ
- (二) 正しい科学的知見
- (三) 不当な圧力が無いこと
- (四) バランス感覚を持った冷静な熟慮

今回のコロナ騒動では、発症者数・死亡者数に関しては正確なデータとは

言い難い。一方、年間死亡者数が減少したという喜ばしい事実は日本ではほとんど報道されなかった。接種されるワクチンは従来のワクチンとは違うRNA遺伝子を注入するという世界初の試みである。長期にわたっての治験もない。同調圧力も強い。こういったことを勘案すれば「急いで接種をする必要はない」という判断も十分に合理的である。接種しない人に対する差別などへの対策は。



戸別収集（横浜市）

保健センター所長 接種を受けない人に対し、誤った知識や不確かな情報による、不当な差別などの人権問題が起こらないように十分に広報していく。

ゴミの戸別収集について

問 ゴミ出し困難者に対して戸別収集等の取り組みは。

町長 収集体制など先進事例などを参考にしながら検討していく。

新・商工業

新社会実現に向けて

4団体で連携し研究する



柘津 明子 議員

問 DX化、ゼロカーボン社会の実現に向けた今後の計画は。

町長 町と商工会、（公財）さかきテクノセンター、テクノハート坂城協同組合が連携し、町内事業者からのニーズを聞くとともに、国・県等の支援策の動向を注視しながら町内産業におけるDX化、ゼロカーボン化の推進に向けた支援策等について研究していく。

まち活性化に向けて



金属3Dプリンター導入

問 稼げるまちづくりの一つとして、駅周辺の整備と活性化に向けた町の考えは。

商工農林課長 3年度、坂城高校と筑波大学との高大連携事業を計画。この事業は、データ分析に基づき社会問題の解決

などを学ぶ筑波大学の学生が当町を訪れ、坂城高校の生徒と共同しワールドワークなどを通してまちづくりに係るテーマを設定し、ワークショップを行う。駅周辺の活性化などについて若者目線によるアイデアに期待する。また、昨年取得した鉄の展示館西側の土地も含め、魅力ある中心市街地として環境を整え、賑わいによる波及効果で地域経済の活性化につなげていきたいと考えている。

少人数学級

さらにすすめる考えは

県に体制の充実を要望



玉川 清史 議員

問 現在40人学級として
いる国が、コロナ感染症
対策も考慮して35人学級
の方針を示した。県はす

でに35人学級をおこなっ
ており、町でも実現して
いるが、少人数学級をさ
らにすすめる考えは。

教育長 平成14年からの
県の「信州少人数教育推
進事業」により、町内各小
学校に加配の教員が配置
され、すべての学級が35
人以下の学級編制になっ

ている。また、町としては
児童生徒支援員を各学校
に3人ずつ配置してい
る。

こうした学級編制で、
児童生徒へのより細やか
な対応や個に寄り添った
学習指導が図られたなど
の具体的な成果も挙がっ
ている。

国の施策として35人以
下学級が今後拡大してい
く中で、県にはさらに体
制を充実するように教育
関係の諸団体と連携して
要望していく。

子育て支援について

問 子育て短期支援事業
が始まるのはいつか。

町長 事業には児童の短
期入所生活援助事業と夜
間養護等事業がある。現
在宿泊や夜間の受け入れ
が可能な町外の児童養護
施設等の選定と契約の準
備を進めており、4月か
らの実施予定である。



児童養護施設（千曲市）

町イベントの開催は

実施に向け準備

コロナ後



中島 新一 議員

問 事業所への支援と町
主要イベント開催に向け
ての考えは。また、花火大
会の開催を。

町長 今後は、ワクチン接
種が始まり感染の状況は
改善されていくと期待す
るが、しばらくの間は飲食

店等を取り巻く環境は厳
しい状況が続くと予想さ
れる。引き続き、商工会等
と情報共有及び連携しな
がら事業所に対し令和3
年度も消費喚起策や新た
な支援策も検討していき
たい。

主要イベントの開催に
ついては、ばら祭りや坂城
どんどの開催に向けて
各実行委員会への補助金
を予算計上した。感染状況
にもよるが、国や県の感染
防止ガイドライン等に沿
い実施に向け準備を進め

ていく。花火大会は、近隣
市町村と連携した話があ
れば検討していく。

森林整備について

問 町有林の整備について
町有林課長 町有林の
整備を行うため10名の林
業委員を委嘱し、下草刈
りや枝打ち、獣害防止の
ための忌避剤の塗布等の
作業を行っている。引き
続き林業委員を中心に整
備などに取り組む。



ばら祭りの開催が待ち遠しい

園内の道路の安全対策は

注意喚起の看板を設置



山城 峻一 議員



歩行者専用道路になれば

問 公園内の遊具の点検・修理はどのように行っているか。

建設課長 「ちびっこ広場」については、点検が必須な遊具が18箇所あり、来園者が安心して遊べるよう都市公園法に基づく年1回の遊具の定期点検

を毎年春実施している。点検方法については、国の指針に基づき遊具の安全に関する専門的な知識・技術を有する業者に委託し、有資格者が遊具の経年劣化や塗装の確認、子ども達が実際に遊ぶ目線で安全点検等を実施している。

また、専門業者の点検とは別に日常点検として、月1回、町職員と公園の指定管理者である「坂城町振興公社」職員で、遊具の目視・触診・打音の点検を実施している。

問 公園内びんぐし亭からびんぐし小橋に通じる道路について、自動車の通行が危険と感ずることがあるがその対応は。

建設課長 今後の管理方法については町内外から大勢の人々が訪れているので、車の通行をより一層気をつけるよう注意喚起の看板の設置などを実施していく。

森林経営管理制度とは

委託を受け町が管理する

森林管理



小宮山 定彦 議員

適切な経営管理がされていない森林の所有者に今後の経営管理について調査を行う。その結果、森林所有者が市町村に経営管理を委託したい意向がある場合、林業経営に適した森林は市町村が森林組合などに経営管理を再委託する。林業経営に適さない森林は市町村が自ら森林の

管理を行う。**問** 制度の対象となる森林はどのくらいか。
商工農林課長 町内約3千600haのうち、約590haを見込んでいます。

「ごみの分け方・出し方」

問 冊子の改訂版の変更点、配布時期は。

町長 より詳しい分別方法を示し、外国語版も出す。混乱を避け、適切な時期に全戸配布したい。



森林の経営管理：令和7年度までに140ha達成！

問 適切に管理された森林には木材など林産物を生み出すほか、様々な多面的・公益的機能（水源涵養機能、土砂災害防止機能、地球環境保全機能など）がある。私有人工林の木材の利用を図るとともに荒廃化を是正すべく平成31年度より「森林環境譲与税」を財源に、森林整備の切り札ともなり得る「森林経営管理制度」がスタートした。制度の概要は。
商工農林課長 最初に、適

ワクチン

接種推進か希望者接種か

接種を勧める



塩野入 猛 議員

問 国の新型コロナウイルスワクチン接種方針は国民に「努力義務」を求めている。町の考えは接種推進かそれとも希望者接種に重点を置くのか。また、接種に向けた問題点は。

福祉健康課長 市町村長は接種の勧奨を行い、住民には接種の努力義務が



枯草広がる「浅春のバイパス予定地（網掛）」

ある。強制ではないが接種を勧めていくと共に、接種の適切な判断ができるよう、安全性や副反応などの情報を提供していく。

接種実施の具体的なスケジュールを確定できないことが最大の問題。また、国には正確で確実な情報を余裕を持って示してほしい。

国道18号バイパス

問 バイパス建設の動きが始まって半世紀、事業

化され10年が経とうとしているが、取り組みの状況は。町のこれからの行動予定は。

町長 網掛地区で木柵設置工、工事用道路新設工事が施行された。上五明地区の県道交差点の承諾が得られたので、今後用地測量が進められる予定。

これから地域、企業、隣自治体と協力しながら国道事務所、県、関係機関と連携し、1日も早い供用開始に向けた整備促進に努めたい。



朝倉 国勝 議員

問 コロナ感染症の早期制圧に向けては、ワクチン接種者を短期間に増やし、抗体保有者群を作ることが重要であるため、町民に正確な情報の提供が極めて重要である。町民に対し、どのような情報提供をしていくのか。

福祉健康課長 感染動向は一部で落ち着きが見られるが、一方、首都圏においては新規感染者は減少傾向にあるものの、依然予断を許さない状況である。2月14日に国内で初めて新型コロナウイルスが承認され、医療従事者への接種が開始された。

早期終息

ワクチン接種へのPRを

正確な情報発信に努める

感染の終息に向けた切り札として期待されている。しかしながら、今回のワクチンは新たに開発されたワクチンのため、不確実な情報や推測を交えた情報があふれる中で、接種に對しいたずらに不安をおおることがあってはならないと考えている。町としては町民が適切な判断ができるように正確な情報の発信に努める。

町の表彰式に向けて

問 今年の町表彰式に対する考えは。

町長 町の発展に尽力された方を規定に照らして選考し顕彰している。今年も同様な考えで行う。



ワクチン接種会場 文化センター体育館

公共交通

新システムの進捗状況は

早期の実施を目指す



大森 茂彦 議員

便性を図っている。今後より利便性の高い新しい地域交通システムの導入のため、地域交通利用促進協議会の中で研究部会を設置した。早期の実施を目指している。

建設課長 研究部会は区長会、老人クラブ連合

問 循環バスの見直しについて、12月議会の質問で「循環バスと併用したデマンド交通など実施している他市町村の状況を研究している」との答弁があった。また、第2期総合戦略にも総合的な交通体系づくりを促進すると明記してある。新システムに向けた進捗状況は。

町長 現在、町民の移動手段を確保するため、上田医療センターへの直行便や千曲市循環バスの接続に力石バス停の停留時間の見直し、どこでものれーるなど循環バスの利



坂城駅前待機する2台の循環バス

会、女性団体連絡会の各代表や町内交通事業者、商工会、社協等で構成。今後、タクシー事業者の協力を得て、利用者の行き先、利用の頻度等状況調査を行う。それを参考に運行形態、運行エリアの範囲、車両サイズ・台数、システム機能等を検討し、お盆までに骨格は作りたい。その後、運輸局への申請などの諸手続きがあり、いつ実施するとは言えないが、早期の実施を目指す。



滝沢 幸映 議員

町の将来像は

輝く未来を奏でるまち

総合計画

問 第5次長期総合計画の成果と、第6次長期総合計画の取り組みは。

町長 第5次計画は基本目標を実現するために実施した様々な事業が有機的に作用し「人が輝くものづくりのまち」の実現に大きな成果を上げた。第6次計画の取り組み



町の将来像実現へ向け策定

みは「輝く未来を奏でるまち」の実現に向け6つの基本目標を設定した。各施策を推進するための共通テーマ「SDGs」の達成と「デジタル変革への取り組み」を位置づけ、様々な施策の展開を通し、町の将来像達成に向け町民、地域、企業と共に邁進して行く。

国際交流

問 ポーランドとの交流事業の内容は。

企画政策課長 町国際交

流協会が主体となり平成26年にワルシャワ日本語学校のサマースクール受け入れからスタートした。これまでの友好交流に共感し、町に対し親和性を感じたツェレスティヌフ郡長から交流の申し出と、招待したい旨の「親書」が届いた。

今後緩やかな交流に向けたフレンドシップ協定の締結を視野に、良好な関係ができればと考える。

中心市街地

用地取得後の構想は

有効活用を検討する



にぎわい再興に向けて



大日向 進也 議員

問 令和2年度、鉄の展示館の西側の土地を取得した。活用に向けて3年度約88万円が予算計上されている。どのような事業となるか。

町長 商業・観光・自治会等の関係者の皆さんから意見を聞き、4年度以降に工事等を行うための基本設計に係る費用を当初

予算に計上した。3年度は方向性を固めるとともに基本設計を完成させ、4年度には実施設計を行い工事着手ができるように進めていく。

問 町は中心市街地活性化検討委員会を設置の計画とあるが、近隣自治会を含めどのような団体と検討を進めていくのか。

町長 取得をした土地は、横町区・込山区・立町区の3区に接する場所に位置しているため、地域の代表として各区の区長、商業・観光の拠点となり得る事が想定されることから、商工会や観光協会、まちづくり坂城のほか、町づくり計画などに協力している大学の先生からも話を聞いていく。

問 活用方法については。

町長 坂城駅周辺で行われるイベントや町なかにおける公園、交流スペースとしての活用が考えられる。また、有事の際における避難場所など防災機能の強化に繋げることもできる。

ふるさと納税

目標額 2億5千万円

寄付しやすい環境を整える



中嶋 登 議員

なった。今後の取り組みは、返礼品のラインナップや事業者の登録を増やしていく。

町も気候非常事態宣言を

問 地球温暖化の影響により、大きな自然災害

が最近頻繁に起こっている。県を筆頭に隣の千曲市、上田市、東御市、青木村など16市町村が「気候非常事態宣言」を行っている。町も行うべきだ。

町長 宣言しようと考えているが、長野地域9市町村が共同して「2050ゼロカーボン」をめざす包括的な宣言を行うことを私から提案したこともあり、その動向を見ながら検討していきたい。

問 私が町に提案し始めた、ふるさと納税が、町長招集あいさつの中で1億8千万円を超えたとの報告があり、大変うれしく思っている。弾みがついたので来年は、目標2億5千万円をめざして頑張ってもらいたい。今までの寄附額の推移と今後の施策は。

企画政策課長 平成28年度は、2千846万円

で、29年度は4千558万円、30年度は7千979万円、令和元年度は1億4千857万円と1億円を超えた。2年度は1億8千700万円超えと



我らが愛する坂城町

あすなるたち

心・技・体を鍛える

チャレンジ!! 自ら進んで行動を = 努力の天才になれ = ～スポーツ少年団 軟式野球部～

軟式野球は村上小学校グラウンド(3月～11月)、坂城小学校・南条小学校体育館(12月～2月)で土日の午前中「チャレンジすること」を目標に日々練習に励んでいます。

現在、小学校1年生～6年生、計15名(女子3名)で活動しています。他のスポーツと掛け持ちで参加している子供もいます。野球を基本から学ぶだけでなく、挨拶、返事、感謝、仲間を思いやる気持ちなどを大切にすよう、時には厳しく指導しています。また、体育館練習の時は、持久走で体力をつけるとともに、自分の弱さに負けないように一生懸命走っています。続けることの大切さも身につけられると思います。



子供達のチャレンジ精神を育てるために、チャレンジしてミスをした事を注意することよりチャレンジしたことを褒めるようにしています。また、ある子供が自主的に行動をしていい事だと思うと他の子供達に見習うように指導しています。大人になり、つまずいた時に、軟式野球で学んだことを思い出し、乗り切るためのきっかけになってくれれば幸いです。

親子で一緒に思い出作りにチャレンジしてみませんか? 団員募集中です。

(保護者会長 丸山 智哉)



余光

未だに収束の兆しが見えない新型コロナウイルス、この一年余り幾度となく私たちの生活を脅かす「波」が襲っている。

この「波」という字で思い浮かべるものとは・・・10年前の東日本大震災における大津波を思い出してしまふ。「波」の意味合いは違うが、どちらも人々の生活を一変させてしまう程の災害であることに違いない。

あたり前であった生活が、そうでなくなる時、人間には大きなストレスが生じる場合がある。少しでも早く普通の生活ができることを望む。

今議会報が発行される頃はG・W期間中で、多くの人の流れが起きる可能性があり、次のコロナ波が不安である。自粛という鎖をいつ外すことができるのだろうか。
(大日向進也)

発行責任者 議長 西沢 悦子
議会報編集委員会

委員長 小宮山定彦
副委員長 山城 峻一
委員 玉川 清史
栗田 隆
大日向進也